

**6月議会
報告**

幼稚園・保育園統合の中期計画を提案

ご意見をお寄せ下さい

大垣市幼保一元化検討委員会は、大垣市の「新しい幼稚園と保育園のあり方」を検討し、平成16年2月に、幼保一元化施設（幼保園）の設置を提言、また46ある幼稚園、保育園を再編、再構築（適正規模、適正配置）にて29園にする幼保一元化将来構想案が出されました。そして、平成17年から赤坂幼保園と綾里幼保園が実施され、続いて青基幼保園が実施されました。更にこの6月議会には、6つの保育園と5つの幼稚園を統合させ、5つの幼保園化を進める中期計画が出されました。今回はこの問題について取り上げました。

なぜ幼保一元化か

大垣市は長年、3・4歳児は保育園、5歳児は幼稚園という大垣方式の保育・幼児教育体制をとってきました。しかし近年全市的には少子化傾向にあり小規模化する園が増え、また幼稚園では複数年化の要求が強まり、保育園では5歳児保育を希望する園児が増えてきました。一方留守家庭児童教室では幼稚園児を受け入れ、その割合が高くなっていました。このように幼稚園と保育園のあり方を見直すことが急務となっていました。幼稚園と保育園について、国は「制度上その設置目的が異なりそれぞれ必要」という考えですが、保護者の意識は「幼稚園と保育園はほとんど差異がない」とうけとめ、これからの新しい幼児教育・保育は、幼稚園児、保育園児と分け隔てることなく、同じ就学前教育を受ける幼児として一体的に捉える幼保一元化が求められました。そして、幼保の連携による一貫した幼児教育の推進、施設の共用化、保育の連携、園児の相互交流、

幼稚園教諭と保育士の合同研修、人事交流などを進めてきました。

幼保園化の実践と 今後の課題

赤坂幼保園は平成13年から15年にかけて、赤坂幼稚園と保育園の一体的保育・教育モデル実践研究が行われ、両園の連携環境が整ったと平成17年から幼保園に統合。

綾里幼保園は保育園・幼稚園とも幼児数が少なく、保育園の施設利用で基準が満たされるため保育園を幼保園化しました。

今までの事例は、比較的小規模の保育園・幼稚園で、幼保園になることで、「保育園的機能が残されてよかった」という保護者の声がある一方、幼稚園と保育園が一緒になることで、

「職員の幼児教育観・保育観の違いでその関係がギクシャクしている」といった声が聞かれます。今回出された中期計画は、園舎の改築と幼保園化と一緒に進められていますが、そのなかには北幼保園のように300人近い規模の園もあります。

中期計画を進める前に、今起きている問題、また検討しなければならない課題など整理する必要があるのではないのでしょうか。

幼保園名	現行施設				統合後の園児数	備考
	公立保育園		公立幼稚園			
	園名	園児数	園名	園児数		
赤坂	赤坂	131	赤坂	74		H16統合
綾里	綾里	55	綾里	20		H16統合
青基	青基	98	青基	59		H17統合
日新	日新	85	日新	13	98	H21年度開設予定
荒崎	荒崎	113	荒崎	25	138	H21年度開設予定
北	北	124	北	68	279	当初の予定ではかさぎは除外
	かさぎ	87				
南	南	97	南	37	134	
東部	三城	146	小野	69	215	小野小の教室不足